

第4期室蘭市役所エコオフィスプラン 平成28年度実績について

市では、環境への負荷の低減に向けた、事業者・消費者の立場での率先行動として、室蘭市エコオフィスプランを策定し、二酸化炭素排出量の削減目標を定め、省エネや省資源に取り組んでいます。H28年度の市役所全施設の事務・事業活動に伴う二酸化炭素排出量は次のとおりです。

1. 二酸化炭素（CO₂）排出量

単位：t-CO₂

項目	H27年度 (基準年)	H28年度	対前年度増減量 <対基準年度比>	目標 <対基準年度比>
二酸化炭素(CO ₂)排出量	31,936	32,594	658 <2.1%>	H32年度 <▲5%>

- H28年度は、全庁的な節電・節暖の継続的な実施、省エネガイドラインによる省エネ化等を推進した一方で、冬季の冷え込みや降水量・積雪量の増加等の影響により各種燃料の使用量が増加したことから、二酸化炭素(CO₂)排出量は前年度と比較して658t-CO₂増加(2.1%増)しました。

【主な施設の排出量経年変化】

単位：t-CO₂

施設	H27年度	H28年度	対基準年度増減量	CO ₂ 排出量の 主なエネルギー種
本庁舎及び広域センタービル	550	650	100	電気
ロードヒーティング	3,102	3,606	504	電気
蘭東下水処理場	2,823	2,868	45	電気
市立病院(本院)	5,688	5,475	▲213	重油
入江温水プール	1,056	917	▲139	電気

- 多くの職員が事務を行う本庁舎及び広域センタービルでは、前年度より冬季の気温が低かったため、暖房の使用燃料量が増えたことなどにより、前年度と比較して100t-CO₂増加しました。
- ロードヒーティングについては、前年度より冬季の気温が低く積雪量が多かったため、稼働時間が増えたことにより、前年度と比較して504t-CO₂増加しました。
- 蘭東下水処理場については、前年度より降雨量が多かったため、処理量が増えたことにより、前年度と比較して54t-CO₂増加しました。
- 市立病院では、照明のLED化、発電機使用により電力使用量を抑制したことにより、CO₂排出量は前年度と比較して213t-CO₂減少しました。
- 入江温水プールでは、H28年度からエネファームを導入したことにより、電力及び灯油使用量が抑制され、CO₂排出量が前年度と比較して139t-CO₂減少しました。

2. 今後のプラン推進への取組について

- 夏季・冬季の節電・節暖対策として、「消灯」「クールビズ」「ウォームビズ」など、取組ごとのCO₂削減量や削減費用を「エコオフィスリーフレット」等に取りまとめ、庁内への周知・啓発を継続することで、省エネ意識の向上と、定着節電量・節暖量の増加につなげていきます。
- CO₂排出量のエネルギー別構成比は、電気使用に伴う排出が約69%と大きいことから、上記節電の取り組みのほか、省エネ対策ガイドラインに基づく照明等の省エネ化を推進し、設備面におけるCO₂削減に取り組めます。



未来のために、いま選ぼう。

「COOL CHOICE」とは、低炭素社会実現のため日本が世界に誇る省エネ・低炭素型製品・サービス、行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。

身近な生活の中で、未来のために今選択できるアクションを選ぶ。

室蘭市は「COOL CHOICE」に賛同しています。